

絶滅が危惧されている
ネコギギは、
どんな魚でしょうか？



日本固有の純淡水魚で、
伊勢湾や三河湾に注ぐ
川にしか生息していません。

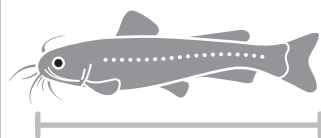
ネコギギ [ナマズ目ギギ科ギバチ属]

Pseudobagrus ichikawai

形態

- 体** 全長15cm
- 顔** ヒゲは4対(8本)あり、頭部はまるく、目が比較的大きい。
- ひれ** 尾びれには浅い切れ込みがある。
- 色** 太く短く体に、黄褐色の地色、こげ茶色の大きな斑紋がある。

成魚の大きさ



全長15cm

稚魚の大きさ



全長3.5cm

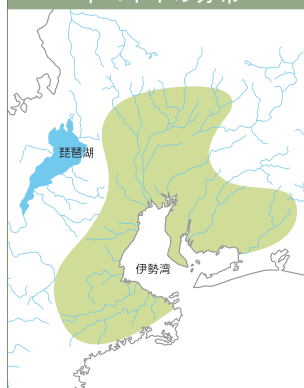
備考

- 固有性** 日本固有種の純淡水魚
- 保護対策** 国の天然記念物(1977)
- レッドリスト** 環境省絶滅危惧種ⅠB類
- 現状** 1960年代までは地域の身近な雑魚であったが、現在は激減してしまった。

特徴

- 分布** 伊勢湾および三河湾に注ぐ河川の中流域に生息し、生物地理学的に貴重な種である。
- 生息場所** 巨礫の下の際間、緩やかな流れの浮石の下、岸辺のヨシの際間。
- 行動** 夜間に河床近くをゆっくりと遊泳し、昼間には泳ぎ回らない。
- 餌** カゲロウなどの水生昆虫。
- 産卵** 6～7月にオスの隠れ家で100～500粒の卵を生む。
- なわばり** オスはなわばりを持ち、産卵場所や稚仔魚の成育場、隠れ場として利用する。
- 生活** 一生を通じて大きな移動をせず、定住性が強い。

ネコギギの分布



東海湖(300万年前)の位置

